

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3615		
科目名	スポーツ医学演習		
担当教員	布袋屋 浩		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 3		
講義室	1404	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G 状況把握力・判断力 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3-H 論理的思考力・批判的思考力 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F 探求力・課題解決力 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I 理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 G1 状況把握（40%） H1 論理的思考（20%） F2 課題解決（20%） I1 理解・分析と読解（20%）		
教員の実務経験	担当教員の整形外科医師として、および各種競技スポーツのチームドクターとしての経験から、教科書や文献を読むだけでは得られない知識や体験談を交えながら、現実的な視点で動いていきます。（第1～12回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	この演習では、『スポーツ医学の基礎』で学習した内容を踏まえて、スポーツ医学に関する国内外の研究論文を精読するとともに、スポーツ実践に適用できる様々なスポーツ医学的測定を学修し、スポーツ医学的知識を実践に活用することができることようになることを目的としています。授業形態は講義・演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンデマンド型オンライン授業を取り入れます。 ■キーワード スポーツ医学、スポーツ外傷、スポーツ障害		
授業の趣旨	■副題 スポーツ医学的観点から、研究テーマに関係する研究手法、測定・評価機器について学び、その妥当性・再現性を考えることができるようになります。そしてスポーツ外傷・障害の初期対応方法を理解し身に付けましょう。 ■授業の目的 スポーツ医学の基礎で学んだ知識をもとに、アスリート、スポーツ指導者あるいはアスレティックトレーナーとして知っておくべきスポーツ現場での主な外傷、障害、病気、緊急事態などについて、事例を挙げて検討し、スポーツ医学に関する知識を深めることを目的とします。 ■授業のポイント スポーツ医学の基礎的知識を整理しておくことが重要です。		
総合到達目標	■アスリート、スポーツ指導者、あるいはアスレティックトレーナーとしてスポーツ医学の知識を競技力向上に役立て、スポーツ実践に活用することができるようになるために、スポーツ活動中に多いスポーツ外傷、スポーツ障害について、その原因や病態、対処法および予防法に関する知識を深め、適切な判断と対応ができる能力を身につける。 ・スポーツ医学の基礎的知識について再度確認し、身体部位別のスポーツ外傷、スポーツ障害について説明できる。（第1～7回） ・スポーツ外傷、スポーツ障害の発生に関する調査方法を修得し、さらにこれらに対する各種対応方法について説明することができる（第8～10回） ・競技種目別のスポーツ外傷、スポーツ障害の特徴について説明できる（第11～15）		
成績評価方法	■リアクションペーパー(60%)：適用ルーブリック G1・H1・F2・I1 （評価の観点）授業、実験実習の参加状況やその目的の理解度を図ります。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■レポート・プレゼンテーション(40%)：適用ルーブリック G1・H1・F2・I1 （評価の観点）授業の内容を踏まえて理論立てて明確に説明できるかを評価します。 （フィードバック方法）後日個別に対応します。		
履修条件	スポーツ医学の基礎(SSCS2310) および機能解剖学の基礎（SSCS2311）を履修していること。		

履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当教員の整形外科医師として、および各種スポーツ競技のチームドクターとしての経験を踏まえた授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ スポーツ医学の基礎の振り返り ②授業概要 スポーツ医学の基礎で取り扱われた内容について整理し、演習で取り扱う内容についての確認を行い、用語やその意味などを説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) スポーツ医学の基礎の授業資料を確認しておく。 ④復習(120分) 自身で理解が困難な用語の意味や使用方法を調査し整理しておく。
	3	①授業テーマ 身体部位別のスポーツ外傷・障害①上肢 ②授業概要 スポーツ活動中に多い上肢の代表的なスポーツ外傷・障害に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、これらの特徴や病態、予防対策などを説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 自身の携わる競技種目における上肢のスポーツ外傷・障害について検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 公認スポーツ指導者養成テキストⅠ-4-3p86、Ⅲ-7-3-3p188-189、JATI【理論編】p24-39：2機能解剖(1)上肢、p188-⑦⑧⑨肩・肘・手関節の傷害を読んで確認しておく。
	4	①授業テーマ 身体部位別のスポーツ外傷・障害：投球障害肩・投球障害肘 ②授業概要 野球肩や野球肘などの投球動作に起因した肩関節および肘関節の障害に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、これらの特徴や病態および理想的な投球フォーム について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 野球肩、野球肘および正しい投球フォームについて調べ、考察する。 ④復習(120分) 取り扱われた文献および公認スポーツ指導者養成テキストⅠ-4-3p86、Ⅲ-7-3-3p188-189,JATI理論編p24-39：2機能解剖(1)上肢、p188-⑦⑧⑨肩・肘の傷害を読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	5	①授業テーマ 身体部位別のスポーツ外傷・障害：下肢 ②授業概要 足関節靭帯損傷、肉ばなれ、オスグッド病、ジャンパー膝など、非常に発生頻度の高い下肢のスポーツ外傷・障害に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、これらの特徴、処置および予防法などについて説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 公認スポーツ指導者養成テキストⅠ-4-3p86-87、Ⅲ-7-3-5p190-192、JATI【理論編】p48-62：2機能解剖(3)下肢,p180-186：7運動と医学②③④⑤足部・足関節、下腿部、膝関節、大腿部の傷害を読んで、下肢の主なスポーツ外傷・障害に関して調べ考察する。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	6	①授業テーマ 身体部位別のスポーツ外傷・障害：膝の靭帯損傷・半月板損傷 ②授業概要 スポーツ外傷のうち、手術を要し長期離脱を余儀なくされることが多い膝関節靭帯損傷・半月板損傷に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、診察方法、治療方針および予防法について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 公認スポーツ指導者養成テキストⅠ-4-3p86-87、Ⅲ-7-3-5p190-192、JATI【理論編】p48-62：2機能解剖(3)下肢,p183-：7運動と医学④膝関節の傷害を確認し、膝関節外傷について検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	7	①授業テーマ 身体部位別のスポーツ外傷・障害：腰部障害 ②授業概要 体幹のスポーツ障害のうち、特に腰椎椎間板ヘルニアと腰椎分離症に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、腰部障害の病態や症状、検査、対応法などについて説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 腰部のスポーツ障害の病態および治療、予防法について、公認スポーツ指導者養成テキストⅠ-4-3p86、Ⅲ-7-3-4p189-190、JATI【理論編】p40-472：2機能解剖(2)脊柱と胸郭、p186-187⑥腰部の傷害を読んで確認し、腰部障害について検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	8	①授業テーマ スポーツ外傷・障害に関する調査方法 ②授業概要 スポーツ外傷・障害の発生状況、発生頻度といった疫学調査に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、調査・研究および評価方法、分析方法について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 自身の携わる競技種目におけるスポーツ外傷・障害の特徴、疫学について検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	9	①授業テーマ スポーツ外傷・障害とストレッチング ②授業概要 スポーツ医学の観点から、ストレッチングの生理学や効果に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、ストレッチングとスポーツ外傷・障害の関連について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) ストレッチングについてスポーツ医学的観点から検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、ストレッチングについて再度確認しておく。
	10	①授業テーマ スポーツ外傷・障害に対する物理療法・レーザー治療 ②授業概要 代表的なスポーツ外傷・障害に対する物理療法・レーザー治療に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、これらの適応や効果について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 自身の携わる競技種目におけるスポーツ障害と物理療法に関してスポーツ医学的観点から検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	11	①授業テーマ 競技種目別のスポーツ外傷・障害① ②授業概要 競技種目別のスポーツ外傷・障害に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、代表的な競技種目における特殊性について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 代表的なスポーツ種目におけるスポーツ外傷・障害について検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。

	12	①授業テーマ 競技種目別スポーツ外傷・障害② ②授業概要 競技種目別のスポーツ外傷・障害に関する担当教員の実務経験に基づいた講義を理解し、それを踏まえて文献の精読を行い、特に自身の専門とする競技における特殊性について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 自身の携わる競技種目におけるスポーツ外傷・障害について検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	13	①授業テーマ 研究テーマの決定、調査・研究 ②授業概要 これまで行われてきた授業を元に、自身が興味のあるスポーツ医学に関する研究テーマを決定し、予想される仮説を立て、その具体的な調査・研究の方法や手順について説明することができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 自身が興味のある分野における研究の方法や手順について過去の文献から確認しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、具体的な研究方法などを再度確認しておく。
	14	①授業テーマ 研究テーマの評価・検討・プレゼンテーション ②授業概要 自身が選択した研究テーマにおける調査・研究結果の評価とその意味について検討し、他者に研究結果を説明・プレゼンテーションすることができる(F2, E1, G1, I1)。 ③予習(120分) 自身の携わる競技種目におけるスポーツ医学的観点から検討された文献を整理しておく。 ④復習(120分) 取り扱われた文献について読み返し、評価・検討方法などを再度確認しておく。
	15	①授業テーマ スポーツ医学演習のまとめ ②授業概要 これまでのスポーツ医学演習での議論内容について総括し、スポーツ医学における研究の方法とその結果の解釈について説明することができる。 ③予習(120分) これまで授業内で行われた議論内容について整理しておく。 ④復習(120分) スポーツ医学演習において取り扱われた文献や自身が事例的に示した研究における研究方法とその結果について整理しておく。
関連科目	スポーツ医学の基礎 (SSCS2310)、機能解剖学の基礎 (SSCS2311)	
教科書	特に指定しません。	
参考書・参考URL	JATI認定トレーニング指導者テキスト〔理論編〕 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成テキストⅠ・Ⅲ	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：水曜4限 それ以外の時間についてはメール等でアポイントをとればラーニングセンターや研究室等で対応します。	
研究比率		

